

令和8年4月2日

# 飯能信金地域未来創造投資事業有限責任組合 第3号案件としての投資実行

— 大学発ディープテック企業の社会実装を支援 —

飯能信用金庫（飯能市/理事長:松下 寿夫）は有限会社地域共彩キャピタル（草加市/代表:藤野昌平）と共同で地域活性化を目指したファンド「飯能信金地域未来創造ファンド」から第3号案件への投資実行をしました。

## 〈第3号投資先概要〉

会社名	ASEMtech株式会社
代表者	生嶋 健司
本社所在地	東京都小金井市中町二丁目24番16号 東京農工大学小金井キャンパス 先端産学連携研究推進センター（URAC）106室
設立日	2023年11月1日
事業内容	ASEM法に関わる医療応用機器（人用及び動物用）の研究開発、設計、製造、販売、賃貸 ASEM法に関わる産業用非破壊検査機器の研究開発、設計、製造、販売、賃貸 計測技術の研究開発、研究受託、コンサルティング業務
投資金額	50,001,000円



## 〈投資決定理由〉

今回出資したASEMtech株式会社は、ASEM法「超音波×電磁気」を活用した独自技術の社会実装を目指す大学発のディープテック企業です。技術の独自性や知財戦略に加え、社会実装を見据えた経営体制、関係機関との連携状況などを総合的に評価いたしました。また、本件は東京農工大学との包括連携の取り組みの延長線上に生まれたご縁でもあり、将来的には健康寿命の延伸や地域企業との協業機会の創出など、地域社会への波及効果も期待しております。これらの点を総合的に判断し、本ファンドとして出資を決定いたしました。近年、人材不足や原材料価格の高騰など、地域企業を取り巻く経営環境は大きく変化しており、従来のビジネスモデルのみでは対応が難しい課題も増えていきます。当金庫では、こうした社会課題に対し、大学や研究機関が有する高度な技術や知見を社会へ実装していく取り組みが重要であると考えております。本投資を通じて資金提供に留まらず、経営支援・販路開拓支援・大学連携等による技術支援などを行い、同社の中長期的な成長を伴走支援してまいります。

## 〈飯能信金地域未来創造ファンドについて〉

SDGsやサーキュラーエコノミーなど地域に好循環をもたらす新興企業や、地域で雇用を抱える事業承継に課題がある企業への出資を通じて、地域経済の活性化に寄与することをファンドの目的としています。地域共彩キャピタルがファンドの運営・管理を担い、当金庫職員が投資先企業の成長や事業承継に対する支援をハンズオンで行い企業価値の向上を目指します。投資総額は約3億円で、1社あたり3千万円～5千万円を想定しています。投資先は原則、当金庫の営業エリア内の企業です。

【本件に関するお問い合わせ】

飯能信用金庫 地域支援部 経営支援グループ 吉永・松田  
 ☎042-972-8123（平日9:00～17:00）  
 ✉keieishien@hanno-shinkin.jp

